

日本の蔵王ヒルクライム・エコ2019が開催されました

今回で8回目を迎えた蔵王ヒルクライムは、蔵王エコライン(県道白石上山線)と蔵王ハイラインを舞台に開催される自転車ロードレースで、大鳥居前から蔵王山頂のレストハウス前までの高低差1,334m、全長18.7kmのコースを一気に自転車で駆け上がる競技です。

5月19日(日)午前7時から開会式が行われ、全国各地からエントリーした約600人の選手たちが集まり、主催者挨拶等のあと大鳥居前から3グループに分かれてスタートしました。



蔵王町 HP から引用





昨年の大会が積雪等により中止となり2年ぶりとなった本大会では、沿道からの声援に見送られながら、ゴールまで1時間を切る上級者から雪壁や新緑を楽しみながら走るベテランまで、選手たちは思い思いに蔵王を満喫しながらレースを楽しみました。

また、ロードレースは県道で一般車両を全面通行止めとして開催されるため、競技自転車が安全に走行できるよう、道路管理者として路面の段差や亀裂を事前に補修するとともに、大会当日の早朝も主催者等と合同パトロールを実施して路面状況等の確認を行いました。



蔵王ヒルクライムは、「蔵王」の全国的な認知度アップと、交流人口の拡大や地域経済の活性化にも寄与するエコスポーツとして定着しており、宮城・山形両県を結ぶ県内屈指の観光道路である蔵王エコーライン（県道白石上山線）を活用したイベントであることから、当事務所も道路管理者として、今後も応援してまいります。